

石峰&抱月のふるさと『地域まるごと博物館』

# 波佐ネット通信

No. 139 2019.9.30

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会

波佐文化協会

能海寛研究会

ほたる湯館G・ゴルフ場

## 第25回郷土石見文化賞

9月29日、江津市の石央地域地場産業振興センターを会場に、石見郷土研究懇話会主催の江津・桜江支部合同研究大会が開催されました。開会式には、来賓として、山下修江津市長、小笠原隆江津市教育長を迎えて開催されました。開会式の後、郷土石見文化賞の受賞式が行われ、西中国山地民具を守る会が受賞の栄に浴しました。

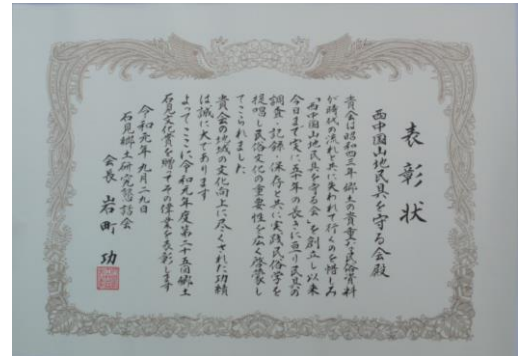
民具を守る会の活動は、昭和43年に会を結成して以来、民俗資料の調査・研究・収集保存・活用・啓蒙活動を50年間に亘り実施してきた文化財の保護団体です。

特に、「実践民俗学」を提唱して、旧製法による「紙漉き習俗」の再現。「農具を用いた労働慣行」の再現。「麻の栽培」と「麻蒸し」記録作成。古老による「トロヘイ」の復元・記録作成。古代「たたら製鉄」の再現実験。「綿花の栽培」記録作成。など11種類の聞き取り調査に基づく、失われた労働習俗を再現して、記録に留め、活用するという主旨の活動です。

これらの活動の他に、文化財全般に亘る保護活動で、史跡笠松峠の畳石路の測量調査、波佐一本松城の平板測量調査、千年比丘一号墳の学術調査、長田郷遺跡の調査などや文化財講座・文化講演会を四五年間に亘り開催してきました。

現在、浜田市から「金城資料館」の指定管理を請け、金城民俗資料館において、「民俗資料回想セラピー」（認知症の予防・抑制のためのプログラム）を実施して、高齢者のグループ、介護福祉関係者の利活用を頂いている。プログラムは、①民俗資料の見学。②民具を用いた労働慣行を視聴覚学習。③民俗回想座談会。所要時間2時間30分を希望する団体へ、金城資料館では、地域貢献「プラス・ワン活動」として実施しています。

その他に、平成17年度から実施している「地域まるごと博物館」は、他団体とタイアップして、金城資料館（浜田市金城民俗資料館・浜田市金城歴史民俗資料館）を核として、半径1kmの範囲にある観光資源全体をミュージアムとして、「カルチャーミュージアム(学べる博物館)」運動を推進しています。昨年、50周年を迎えた西中国山地民具を守る会は、記念誌『実践民俗学50年の歩み』（A4カラー版・40P）を発刊しました。



研究大会の様様